

法人(事業所)理念		リフライズは、子どもたちの「できる」を広げ、未来への一歩を支える場所です。 子どもたちが放課後の時間を有意義に過ごしなが、未来への希望と自信を育むことを目指しています。		
支援方針		<ol style="list-style-type: none"> <li>安心できる居場所の提供 学校や家庭以外の第3の安心できる場所として、子どもたちがリラックスしながら自分のペースで過ごせる環境を整えます。</li> <li>一人ひとりの可能性を尊重 子どもの特性や個性を理解し、「できない」ではなく「どうすればできるか」に目を向け、成長を支援します。</li> <li>社会性と自立のサポート コミュニケーション能力や日常生活のスキルを育む活動を通じて、子どもたちの自立を応援します。</li> <li>家族とともに歩む支援 保護者との連携を重視し、家庭や学校との橋渡しを行いながら、子どもたちを包括的に支えていきます。</li> <li>楽しみながら学ぶ機会の提供 遊びや学びを組み合わせた活動を通じて、子どもたちが楽しみながら新しいことに挑戦し、成功体験を積み重ねられるよう支援します。</li> <li>地域とのつながりを築く 地域社会と連携し、子どもたちが地域の一員として成長できるよう、支援の輪を広げていきます。</li> </ol>		
営業時間		10 時 から 19 時 まで	送迎実施の有無	あり
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に健康的な生活を送れることを目的としてそれらのために様々な支援を組み合わせる。具体的な支援として、①イベントなどで決められているがスケジュール通り行動することを学ぶ。</li> <li>②クッキングではより多くの食材に触れ好き嫌いを低減しつつ生活を豊かにすることを図る。③身の回りの整容を学ぶように片付けや手洗いなどが習慣づけられるように支援を行う。</li> </ul>		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体の運動機能を強化することによって、日常生活を拡充することを目的として支援を行う。具体的な支援として、①公園などで身体を大きく動かす粗大運動を向上させつつ工作など微細運動への支援を行う。またいずれの運動機能においても、段階的に身につけられるように外出時以外にも室内のリラックススペースを活用し、身体を動かす機会を設けていく。(バランスボール、リトミック、キッズヨガ等)</li> </ul>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指し支援方法を組み合わせる。具体的な支援として①小集団で外出や活動を行い外出や集団生活でのルールや行動を学びその中から集団で過ごすための情緒の安定を学べるように支援員からの声掛けをこまめに行っていく。②成功体験だけでなく失敗体験も積ませることで失敗に対して対応できるより柔軟な心を身に付けられるように支援を行う。(失敗経験を見逃さないように)</li> </ul>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションの基礎的能力の向上を行い結果として様々な状況に対応できるようコミュニケーション力を身に付けられるように支援を行う。具体的な支援として、①他利用者さんとの関わりがもてるように活動の際に集団(小集団になるように)誘いかけたりその際に、自分の意見だけではなくに気づけるように言葉がけを行う。</li> </ul>		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びを通して社会性の発達を促し仲間づくりと集団への参加を目指し支援を行う。具体的な支援として、様々な活動は集団で行い、他利用者やコミュニケーションのが取れるような環境を準備しそのうえで支援員が仲介しながら人間関係の取り方などを学べるようにする。</li> </ul>		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者様の子育てに関する悩みなどに関して、事業所での様子などの情報交換とそれらを踏まえたうえでの助言・相談を行う。</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の意識改革と倫理観の向上のため、以下のことを重視しています</li> </ul>
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備としての支援を行う。*2024年11月より、現在中高生の子の移行が2025年度より始まっている。本町は対象者5名。来年度4月から移行予定が5名。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>【子どもの権利擁護】 障害児通所施設で働く職員一人ひとりが、子どもの権利擁護の意識を持ち、常に子どもの最善の利益を考え行動する</li> </ul>
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>将来的に子供たちが地域で生活するうえでより生きやすい社会を作ること目標とした包括的な支援を行う。そのためには、学校・医療機関・保健所・児童相談所等の専門機関との情報連携や調整、個別のケース検討のための会議への出席等を適宜に行う。</li> <li>関係機関で役割分担を行うと共に情報の共有を図る。</li> <li>家庭・学校・事業所での日々の様子を交換し合い支援員が足並みを揃えた支援を行えるように個々の特性に応じた環境設定や目標設定を行い必要に応じて支援計画の見直しを行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>【倫理的な行動】 職員は、高い倫理観を持ち、責任感を持って業務に取り組む</li> <li>【研修】 定期的な研修を通して、法令や倫理に関する知識を深め、意識を高める</li> <li>【相談しやすい環境】 職員同士が相談しやすい環境を作ることで、問題の早期発見・解決に繋げる"□</li> </ul>
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>リフライズは比較的行事も多く、季節の移り変わりが感じられるように各季節に沿ったイベントを開催している。(今後3事業所合同での企画も考えたい)</li> <li>春→いちご狩り 夏→88ハウスにてそーめん流し、プール 秋→ハロウィン会、いもほり、みかん狩り 冬→クリスマス会、餅つき</li> <li>★避難訓練(水害・地震)→5月と10月に</li> </ul>		